



裾野東小
ことばの教室
須藤 和葉

8. 9月号

東小学校：裾野市茶畑399 Tel:992-0049 Tel:993-4463(直) Fax:992-1300

令和3年8月27日発行

様々な感動をもらったオリンピックも終わり、パラリンピックが始まりました。そして、2学期もスタートです。残念なことに、8月20日より県内に緊急事態宣言が発出されました。ことばの教室でもより一層の感染防止を心掛けながら支援をしていきたいと思えます。玄関での検温や手指の消毒など新しくお願いすることもあります。御協力よろしくお願いいたします。



8. 9月の予定

月	火	水	木	金	土・日
23 夏休み最終日	24 2学期始業式	25	26 午後 会議のため お休み	27 ことばの教室 再開	28
					29
30	31	1 	2	3	4 本読んDAY
					5 本読んDAY
6	7	8	9	10 中止	11 東小 PTA奉仕作業
					12
13	14	15	16 午後 出張の ためお休み 自然教室⊕	17 東小5年 自然教室⊕	18
				延期	19
20 敬老の日	21	22 午後 出張のため お休み	23 秋分の日	24 月曜日課	25
					26
27 午前 お客さんが みえます	28	29	30 東小6年 修学旅行⊕	延期	

裏面は思春期について中学通級の先生からの資料です。まだ先の話、と思う方もいらっしゃるかも知れませんが、今の経験が思春期に続いているそうですよ。是非御一読ください。

中学通級は思春期通級 ①

思春期とは…

思春期の子どもを理解するために特徴をふまえておきましょう。

1 思春期はライフステージの一部

思春期は、新生児期→乳児期→幼児期→学童期を経て必ず訪れます。

つまり、思春期におけるさまざまな行動や心理的变化は、幼児期・学童期など（過去）の経験が関係しているのです。思春期（現在）だけを取り出してその子を理解することはできません。その後、青年期→成人期と連続していきます。

2 思春期は心とからだ「変化」する時期

思春期は、子どもの状態から大人の状態に移行するという、非常に大きな「変化」が起こる時期です。

①身体の変化（生物学的変化）

第二性徴、身長伸び、体つきの変化 など

②心の変化（心理的变化）

子どもたちは、身体の変化に動揺しながらもなんとかそれを受け入れていこうと努力します。つまり、気持ちの上で、身体がこんなに大きくなってきた自分はもう子どもではないのだ、子どものままにいるわけにはいかないのだと考え始めることになります。

③役割・立場・人間関係の変化（社会的変化）

思春期では、社会の中での自分の居場所や役割を見つけていきます。

- ・なんでも手伝ってもらわないとできない子ども役から、何でも自分でできる大人役になる。
- ・小学生から中学生になり、社会的立場が変わることで、より高度の生活パフォーマンスが期待されるようになる。
- ・家庭の中を中心にしていた人間関係が、家の外・地域社会での人間関係を重視するようになる。

3 思春期には解決しなければならない「課題」がある

思春期は変化する時期ですが、ある日を境に急に変わるわけではありません。徐々に少しずつ変わっていくので当然その間には中途半端な状態が続きます。つまり、「大人でも子どもでもない」状態、あるいは大人と子どもが一人の人間の中に同居しているような状態です。中途半端な状態に悩み、あるときは大人に、あるときは子どもにという大きい振れ幅の気持ちの揺らぎを経験しているのです。

大人の状態になるのは、思春期の「課題」を乗り越えたときです。課題はいくつもありますが、その中でもっとも大切なことは「同一性の課題」です。同一性とは、「自分は自分である」という感覚のことですが、これは「自分はいったい何者であるのか」という問いの答えです。思春期は自分のことについて一生懸命考える時期です。自分はいったいどこから来てどこに行こうとしているのか、自分は何ができて何ができないのか、自分はどこで何をすればいいのか、このようなことを自問自答し続けるのが思春期なのです。

（「親子で乗り越える思春期の発達障害」 塩川宏郷 著 より引用）

今回は「思春期」のおさえをしました。次回「発達障害をもつ子どもの思春期」に続きます。



☆ちょっとフレイクタイム

発達障害の理解に、おすすめの漫画を紹介します。

「リエゾン …こどものこころ診療所…」です。

読んでみるといろいろわかります。

<中学校通級指導教室「デイジー」>